

奥州遺産

No.36

女石神社

〓 衣川区女石 〓

ときを越え
受け継がれるもの

衣川区古戸から西方の人里離れた山間にある松山寺。その境内に女石神社は、ひっそりと社を構える。磐神社（男石大明神）の末社として、古くから陰陽一對の神として祀られた。

平成24年3月、社殿が再建された女石神社。その名のとおり、女石と呼ばれる周囲約5㍎、高さ約2㍎の割石をご神体としている。古来、社殿は設けず、地域住民はこの女石を崇拝し続けてきた。

社殿の前には、市指定天然記念物のイチヨウが生い茂る。この木には、乳房状の柱瘤があり「乳房公孫樹」と呼ばれている。この樹皮を煎じて飲むと、乳の出が良くなるといういわれがあり、最近まで刀痕が絶えなかった。

古くから女性の守護神として崇められてきた女石神社。地域の守り神は、子を育てる母の思いを、これからも支え続ける。

広告



1 稲葉 姫 命を祭祀する女石神社の社殿

2 社殿裏手に鎮座する女石 3 女石神社は松山寺の境内に社を構える。このほか、境内には市指定天然記念物のカヤもある